



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月8日

上場会社名 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 URL http://www.japan-medical.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平川 大
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部ゼネラルマネージャー (氏名) 三宅 大祐 (TEL) 03(5790)5261
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績 (平成26年6月1日～平成26年11月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	579	△6.7	47	△33.3	47	△33.7	22	△38.9
26年5月期第2四半期	620	20.2	71	20.3	71	19.8	36	17.2

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 20百万円 (△43.8%) 26年5月期第2四半期 36百万円 (17.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	4.11	4.11
26年5月期第2四半期	6.73	6.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第2四半期	1,691	1,224	71.5
26年5月期	1,637	1,209	72.8

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 1,209百万円 26年5月期 1,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想 (平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,405	10.8	100	△25.3	100	△25.5	41	△36.6	7.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年5月期2Q	5,386,500株	26年5月期	5,386,500株
27年5月期2Q	34株	26年5月期	34株
27年5月期2Q	5,386,466株	26年5月期2Q	5,386,466株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成27年1月16日に機関投資家及びアナリスト向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する第2四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、円安による原材料価格の高騰や消費税増税前の駆け込み需要の反動による個人消費の停滞懸念など、依然として先行き不透明な状態が続いております。

広告業界においては、デジタル広告を中心に広告宣伝費を増額する企業が増えるなか、スマートフォン対応が着実に進んでおります。BtoC企業の2013年度のスマートフォン広告出稿比率は前年度比2.9ポイント増の31.0%、サイト開設率は同2.5ポイント増の44.5%に達しております（株式会社日経BP「2014年企業のインターネット広告・モバイル広告利用動向調査」）。

一方、当社グループの事業領域である歯科市場においては、歯科診療医療費が2兆7,174億円（前年比0.8%増 厚生労働省「平成25年度 医療費の動向」）、歯科診療所は68,853施設（前年比0.2%増 平成26年9月30日現在 厚生労働省「医療施設動態調査（平成26年9月末概数）」）となり、歯科医療費としての総額は初めて2兆7千億円を突破しましたが医療費総額に占める割合は、減少傾向に歯止めがかからず6.9%（前年比0.1%減）と歯科診療医療費の伸び悩みや歯科医院の過当競争等の厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、基幹事業であるポータルサイト運営事業の効率化を推し進めると共に顧客満足度の向上を図るためスマートフォン広告の拡充、新たなサービス構築のためのリソースの確保に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は579,154千円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益は47,526千円（前年同四半期比33.3%減）、経常利益は47,689千円（前年同四半期比33.7%減）、四半期純利益は22,152千円（前年同四半期比38.9%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① ポータルサイト運営事業

当社グループの基幹事業であるポータルサイト運営事業においては、引き続きスマートフォン広告の拡充を進めると共に運営業務の効率化を図り、新たなサービスの提供を実現するための体制を整備してまいりました。その結果、歯科分野では「矯正歯科ネット」や「審美歯科ネット」、美容・エステ分野では「気になる！美容整形・総合ランキング」が前年同四半期比で増加いたしました。その他のポータルサイトへの広告出稿につきましては厳しい状況が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は308,941千円（前年同四半期比1.6%減）、セグメント利益は185,138千円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

② SEM事業

SEM事業においては、運用型広告市場規模は、運用型広告費に含まれる検索連動広告費がスマートフォンやタブレットなどの普及拡大の恩恵を大きく受けたことにより、4,122億円（前年比21.6%増）となりました（株式会社電通「2013年日本の広告費」）。

こうしたなか、弊社におきましてはスマートフォンやタブレットなどの普及拡大の影響を受け、リスティング広告運用代行サービスのクライアント数は増加いたしました。売上高については一部クライアントの運用額減少により前年同四半期比で減少いたしました。また、SEOサービスにおいては、複数キーワードへの対策結果を短期的に求めることが難しい仕組みへと変化したことにより、比較的効果の現れやすい検索連動広告をそれに代わる手法として求めるクライアントが増えていることから、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は115,495千円（前年同四半期比15.6%減）、セグメント損失は2,804千円（前年同四半期は、セグメント利益2,853千円）となりました。

③ 保証事業

保証事業においては、連結子会社の株式会社ガイドデントにおいて、歯科自由診療を行う歯科医院のうち、当社グループが定める基準を満たした歯科医院（認定会員）に対して、治療前に登録した治療に関して治療後に再治療が発生した際の費用を保証するサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、引き続き積極的に保証サービスの周知活動を行ってまいりました。

また、営業活動の強化と保証内容の多様化によって認定会員の選択肢を増やしたことにより認定会員につきましても順調に増加しております。それに伴い保証件数についても増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,817千円（前年同四半期比17.4%増）、セグメント損失は17,998千円（前年同四半期は、セグメント損失11,620千円）となりました。

④ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、連結子会社のブランネットワークス株式会社において、歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐポータルサイトの運営を中心にリサーチ、コンベンションの運営受託、広告ソリューションの提供及びMR（製薬会社の医薬情報担当者）向けの高級弁当販売のプラットフォームを弁当製造販売業者へ提供する等、様々なサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、組織体制の強化や歯科関連企業への積極的なプロモーション活動に努めましたが、その効果は限定的でありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は44,444千円（前年同四半期比9.3%減）、セグメント損失は6,698千円（前年同四半期は、セグメント損失2,370千円）となりました。

⑤ その他

その他の事業においては、事業者向けホームページ制作・メンテナンス、販売代理事業等を展開しております。当第2四半期連結累計期間においては、スマートフォンやタブレットなどの普及の影響を受け、ワンストップソリューションサービスの一環である事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業の販売は堅調に推移いたしましたが、販売代理事業では前年同四半期比で減少いたしました。また、未来生活研究所において、新規事業構築のための研究開発費を計上しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は86,457千円（前年同四半期比13.0%減）、セグメント損失は5,348千円（前年同四半期は、セグメント利益4,950千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,691,990千円となり、前連結会計年度末に比べ54,108千円（前連結会計年度末比3.3%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

イ 資産の部

(流動資産)

流動資産は、現金及び預金、前渡金が増加したことにより1,489,071千円となり、前連結会計年度末に比べ61,826千円（前連結会計年度末比4.3%増）の増加となりました。

(固定資産)

固定資産は、主に固定資産の減価償却により、無形固定資産が減少したため、202,919千円となり、前連結会計年度末に比べ7,718千円（前連結会計年度末比3.7%減）の減少となりました。

ロ 負債の部

(流動負債)

流動負債は、未払法人税等が減少いたしましたが、前受金が増加したことにより459,935千円となり、前連結会計年度末に比べ39,021千円（前連結会計年度末比9.3%増）の増加となりました。

(固定負債)

固定負債は、保証件数の増加に伴うインプラント保証の支出に備える引当金の増加により、7,322千円となり、前連結会計年度末に比べ20千円（前連結会計年度末比0.3%増）の増加となりました。

ハ 純資産の部

純資産は、剰余金の配当を行った一方、四半期純利益を計上したことにより1,224,732千円となり、前連結会計年度末に比べ15,066千円（前連結会計年度末比1.2%増）の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ38,243千円増加し、932,256千円（対前連結会計年度末比4.3%増）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は46,109千円（前年同四半期は30,546千円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払がありました。税金等調整前四半期純利益の計上、前受金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,531千円（前年同四半期は103,100千円の使用）となりました。これは、有形固定資産を取得したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5,335千円（前年同四半期は5,155千円の使用）となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年7月11日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	994,244	1,032,679
受取手形及び売掛金	228,690	225,873
前払費用	159,454	156,180
その他	56,969	87,160
貸倒引当金	△12,115	△12,823
流動資産合計	1,427,244	1,489,071
固定資産		
有形固定資産	11,106	10,810
無形固定資産		
のれん	127,719	124,152
その他	24,901	20,095
無形固定資産合計	152,621	144,247
投資その他の資産		
その他	59,473	62,671
貸倒引当金	△12,564	△14,810
投資その他の資産合計	46,909	47,861
固定資産合計	210,637	202,919
資産合計	1,637,882	1,691,990
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,036	16,715
未払法人税等	43,389	28,352
前受金	241,123	272,834
その他	124,366	142,032
流動負債合計	420,914	459,935
固定負債		
インプラント保証引当金	7,302	7,322
固定負債合計	7,302	7,322
負債合計	428,216	467,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	261,034	261,034
利益剰余金	644,504	661,270
自己株式	△34	△34
株主資本合計	1,191,539	1,208,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	661	1,275
その他の包括利益累計額合計	661	1,275
少数株主持分	17,464	15,151
純資産合計	1,209,665	1,224,732
負債純資産合計	1,637,882	1,691,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	620,535	579,154
売上原価	297,909	286,672
売上総利益	322,626	292,481
販売費及び一般管理費	251,410	244,955
営業利益	71,215	47,526
営業外収益		
受取利息	492	168
その他	505	113
営業外収益合計	997	281
営業外費用		
社債利息	250	-
固定資産除却損	19	118
営業外費用合計	269	118
経常利益	71,944	47,689
特別損失		
投資有価証券売却損	590	-
特別損失合計	590	-
税金等調整前四半期純利益	71,354	47,689
法人税、住民税及び事業税	34,976	26,727
法人税等調整額	400	1,123
法人税等合計	35,377	27,850
少数株主損益調整前四半期純利益	35,976	19,839
少数株主損失(△)	△276	△2,312
四半期純利益	36,253	22,152

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,976	19,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	415	613
その他の包括利益合計	415	613
四半期包括利益	36,391	20,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,668	22,765
少数株主に係る四半期包括利益	△276	△2,312

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	71,354	47,689
減価償却費	10,188	7,324
のれん償却額	3,567	3,567
貸倒引当金の増減額(△は減少)	775	2,954
インプラント保証引当金の増減額(△は減少)	100	20
受取利息及び受取配当金	△492	△168
支払利息	250	-
投資有価証券売却損益(△は益)	590	-
売上債権の増減額(△は増加)	△52,806	571
たな卸資産の増減額(△は増加)	△470	△126
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,090	4,679
その他	40,462	20,976
小計	65,428	87,488
利息及び配当金の受取額	162	168
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△35,044	△41,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,546	46,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,192	△100,423
定期預金の払戻による収入	100,151	100,231
有形固定資産の取得による支出	△1,090	△1,789
無形固定資産の取得による支出	△1,945	△550
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
その他	△23	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,100	△2,531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△5,155	△5,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,155	△5,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△77,709	38,243
現金及び現金同等物の期首残高	834,009	894,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	756,300	932,256

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	314,035	136,801	22,839	48,581	522,257	98,277	620,535
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	408	408	1,148	1,557
計	314,035	136,801	22,839	48,990	522,666	99,426	622,092
セグメント利益 又は損失(△)	192,521	2,853	△11,620	△2,370	181,383	4,950	186,334

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	181,383
「その他」の区分の利益又は損失(△)	4,950
全社費用(注1)	△120,531
その他の調整額(注2)	5,412
四半期連結損益計算書の営業利益	71,215

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	307,808	115,495	26,817	44,384	494,506	84,647	579,154
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,133	—	—	59	1,193	1,809	3,002
計	308,941	115,495	26,817	44,444	495,700	86,457	582,157
セグメント利益 又は損失(△)	185,138	△2,804	△17,998	△6,698	157,636	△5,348	152,287

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	157,636
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△5,348
全社費用(注1)	△114,983
その他の調整額(注2)	10,221
四半期連結損益計算書の営業利益	47,526

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、人材キャリア事業の効率化を図るために社内体制の変更を行ったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「その他」に含まれておりました人材キャリア事業を「ポータルサイト運営事業」及び「その他」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。